

令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

< 小国町立小国中学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 <p>美化新聞 による呼 びかけ</p>	<p>美化委員会が美化新聞を発行して、学校版環境ISOの宣言や目標を伝えた。本来は生徒議会で、美化委員会が学校版環境ISOの宣言や内容、目標を詳しく話す予定だったが、今年度は生徒議会が開催できなかったため、紙面での報告になった。来年度は、生徒議会で具体的に伝え全体での意識を向上させたい。</p>
行動	<p>① ゴミステーションの整理</p>  <p>② 給食での取組</p>   <p>③ リサイクルボックスの使用 (回収ボックス)</p>  <p>④ 無言清掃の様子</p> 	<p>美化委員会は主に、ゴミの削減、古紙回収、校内の美化活動などの取組を行っている。</p> <p>①ゴミステーションの整理</p> <p>本校には、ゴミを保管するためのゴミステーションがある。ゴミを整理するとともに、排出量が一目でわかるようにしている。週のゴミの量は10袋以内になるようにまとめ、呼びかけを行った。【写真①】</p> <p>②給食での取組</p> <p>ゴミの削減では、残飯0を目指し、ゴムベラを使用して、食缶に食材が残らないようにしている。また、給食時に出る牛乳パックを小さく折りたたみ、更に一つのパックにまとめることでゴミがよりコンパクトになるよう全校で工夫している。また、毎週末にゴミの量を計っている。ゴミの量を定期的に計ることによってゴミの全体量を削減できているのかを確認している。【写真②】</p> <p>③リサイクルボックスの使用</p> <p>古紙回収では各教室にリサイクルボックスを設置し、古紙回収を行っている。リサイクルボックスで回収したプリントで裏紙として使用できるものは、積極的に利用し紙ゴミの削減に努めている。【写真③】</p> <p>職員室でも同じく、回収ボックスを設置して裏紙で再利用できる紙は、再利用するように心がけている。</p> <p>④無言掃除</p> <p>本校では、全校で無言清掃に取り組み、時間いっぱい一人一人が集中して掃除を行っている。そこにはトイレ掃除をはじめとして隅々まで汚れを残さないように取り組む生徒の姿がある。【写真④】</p>

⑤ SDGs の取組の様子

(ア)



(イ)



(ウ)



(エ)



⑥ 地域の方との「花一杯活動」



⑤ SDGs の取組

小国中学校では現在 SDGs の学習を総合的な学習の時間(小国学)の柱として位置づけ取り組んでいる。SDGs とは、2030 年までに国連が設定した 17 の項目を世界全体で達成することを通して、持続可能な社会をめざしていこうという取組である。エネルギー需要の削減では、移動教室の時や昼休み、掃除時間中にこまめに電気を消すようにして、節電の徹底を図っている。また、各箇所に「節電ステッカー」を貼ると共に、教職員も節電を心掛けている。【写真⑤-ア】


それぞれの学年が項目ごとに分かれ、私たちの身近な所からどんな取り組みができるのかを考えている。その一例として、9 年生のある班では、ペットボトルとキャップの両方を集めている。ペットボトルは貯金箱として再利用し、また、キャップは、生徒会活動と連動して収集し、ワクチン代として寄付する運動を行った。保護者の中には自分の勤務先にも呼びかけて集めていただくなど取組が地域に広がっている。3 R のことについても詳しく調べ、再生利用(リサイクル)よりもゴミを削減する再利用(リユース)が大切であるということに気付く姿が見られた。【写真⑤-イ】

また、プラスチック製の袋の製造で多くの温室効果ガスが発生することも学び、レジ袋削減のためにエコバッグの普及に取り組んだ。町内のスーパーマーケットを通じて地域の方々に呼びかけて生地を集めると共に、地域学校協働活動ボランティアの方々(6 名)と一緒にエコバッグを作成し配布した。【写真⑤-ウ】

その他の取組として、廃油石けん作りを行った。通常は市販の凝固剤で固めて捨ててしまうことが多い廃油を地域から集め、小国杉の香りがする廃油石鹸を開発し、地域に配布した。【写真⑤-エ】

⑥ 地域の方との「花一杯運動」

これは地域学校協働(花育)ボランティアの方々 4 人の協力のもと、学校敷地内の花壇の整備を定期的に取り組むものである。本年度はコロナ禍ということもあり、活動時間はあえて別枠としたが、本来は美化委員会活動の時間に一緒に取り組ませていただく活動である。この取組はボランティアの方々にとっても「生きがい」を感じる機会になっているとの感想をいただいている。【写真⑥】

記録	<div>美化委員会 ゴミ集計表</div> <table><thead><tr><th>月</th><th>袋数</th><th>量 (kg)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>4・5月</td><td>14袋</td><td>48 Kg</td><td>休部・時短</td></tr><tr><td>6月</td><td>13袋</td><td>42.21 Kg</td><td>休部・時短</td></tr><tr><td>7月</td><td>10袋</td><td>35.56 Kg</td><td>休部・時短</td></tr><tr><td>8・9月</td><td>21袋</td><td>72 Kg</td><td>休部・時短</td></tr><tr><td>10月</td><td>13袋</td><td>41.32 Kg</td><td>休部・時短</td></tr><tr><td>11・12月</td><td>42袋</td><td>157 Kg</td><td>休部・時短</td></tr></tbody></table>	月	袋数	量 (kg)	備考	4・5月	14袋	48 Kg	休部・時短	6月	13袋	42.21 Kg	休部・時短	7月	10袋	35.56 Kg	休部・時短	8・9月	21袋	72 Kg	休部・時短	10月	13袋	41.32 Kg	休部・時短	11・12月	42袋	157 Kg	休部・時短	<p>今年度は、特にゴミの削減に力を入れていたため、美化委員会で毎週のゴミ量を継続して量った。週によって多い週もあり、月によって変動が多く見られた。それ以外でも棚の整理を徹底するために毎週検査をして改善を図った。</p>
月	袋数	量 (kg)	備考																											
4・5月	14袋	48 Kg	休部・時短																											
6月	13袋	42.21 Kg	休部・時短																											
7月	10袋	35.56 Kg	休部・時短																											
8・9月	21袋	72 Kg	休部・時短																											
10月	13袋	41.32 Kg	休部・時短																											
11・12月	42袋	157 Kg	休部・時短																											
見直し	<div>SDGs (持続可能な開発目標)</div>  <div>環境マネジメントシステム [ISO14001]</div>	<p>本年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、生徒議会等での十分な提案ができなかった。そういう状況であっても各委員会で精一杯の取組はできた。</p> <p>今後は、その取組を整理し、関連づけを図ることで、生徒会活動とSDGsとのつながりをより明確にした取組として向上させたい。</p> <p>また、それと共に各家庭はもとより地域への情報発信を重ねながら、小国町が掲げるSDGsの町づくりに寄与していきたい。</p>																												

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・美化委員会において、花壇の花植・水やり・落ち葉拾い、草抜きを継続して行うことで、学校全体の美化に関する意識の高まりが見られる。 ・紙ゴミのリサイクルボックスを設置し、ゴミステーションでの分別を呼びかけることで、ゴミ分別の意識が高まり、その結果として、ゴミの削減につながった。 ・SDGsの取組と関連づけることでエネルギー問題、ゴミ問題は、身近な問題であるという意識を向上させることができた。 ・エコキャップや廃油再利用について地域の方々と連携を図ったことで、学校だけでなく、町民の方々にも環境問題等について関心を持っていただける機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の生徒総会や生徒議会では、学校版環境ISOの取組についてより具体的に伝えたい。 ・ゴミや節水、節電について数値目標を掲げているが、実際に視覚的に見て確認することはなかったので、生徒一人一人の現状認識は弱かった。次年度は視覚的な資料を作成し、その推移を定期的に確認できるようにすることで学校全体としての取組の成果の現状を共有できるようにしたい。 ・家庭や地域に対する情報発信を継続し、本町が掲げるSDGsの町づくりに関する取組を支援していく。